

認知症のお話

② 認知症とはどんな病気？

市では医療機関・介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割を担う認知症地域支援推進員を配置しています。

認知症の方ができる限り住み慣れた地域で暮らしていくためには、まず認知症に関して正しい知識を持つことが大切です。

認知症に関する記事を6回シリーズで掲載します。

《問合せ》高年福祉課豊岡地域包括支援センター
☎ 24-2409

認知症は脳の病気です

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力が低下し、日常生活にまで支障が出るような状態です。通常の老化による衰えとは違います。

例えば、朝ごはんは何を食べたか思い出せないなど、体験の一部を忘れることは、老化による年相応の物忘れです。しかし、朝ごはんを食べたことと自分を忘れる場合は、認知症が疑われます。

認知症を「うつ病」や「せん妄」とは異なる病気

脳の細胞が大量に死ぬことで認知症は起きますが、原因は一つだけではありません。中でも、「アルツハイマー型

認知症」「脳梗塞などが原因の血管性認知症」「レビー小体型

認知症」は、3大認知症といわれています。さらにその他にも、脳腫瘍などが原因となつて、脳の障害が起こり認知症を引き起こしています。

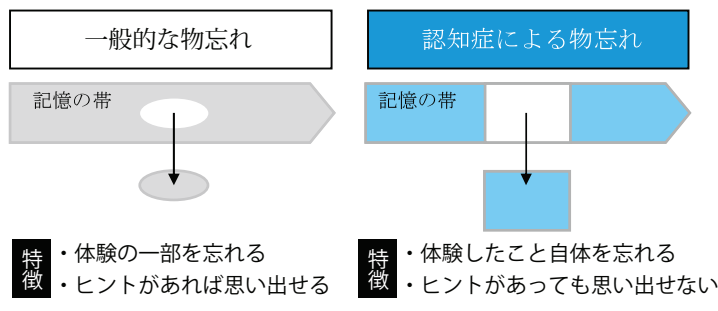
認知症と間違えやすい

「うつ病」や「せん妄」

高齢期は、社会や家庭での役割を失ったり、近親者との死別など、喪失体験が多い時期のため「うつ病」になりやすいです。「うつ病」による一時的な記憶力の低下や運動機能の低下を、認知症の症状と間違えるケースがあります。その他にも大きな手術による入院などで急性の脳機能障害が起こり、一時的に幻覚や妄想



《2種類の物忘れの違いと特徴》



があらわれる「せん妄」も、認知症と混同することがあります。また、脳に過剰な体液(髄液)がたまることで認知症と似た症状が出ることもあります。正しい診断と治療のためにも、認知症が疑われる症状が見られたら、早めに専門医を受診することが重要です。

償却資産の申告

清んでおるか？



固定資産税は、土地や家屋だけではなく、償却資産(事業用の資産)も課税の対象となります。

申告書を提出していない方は、修正申告が必要な方は、早急に申告書を提出してください。

Q 償却資産とは何ですか？

A 会社や個人の方が事業を営むために所有している機械・器具・備品などの固定資産のことをいいます。土地・家屋と同じく固定資産税が課税されます。

Q 償却資産の申告は必要ですか？

A 償却資産を所有している方には、地方税法第383条の規定により、毎年1月1日現在の償却資産の所有状況を資産が所在する市町村に申告する義務があります。また、申告は、資産の多少にかかわらず必要です。

Q 対象となる償却資産は何ですか？

A 原則として、決算時に減価償却資産として計上されたものは全て償却資産の申告対象となります。

飲食店 厨房設備など 	工場 製造設備など 	ホテル・旅館 客室備品など
小売店 陳列ケースなど 	農業・漁業 農機具など 	建設業 パワーショベルなど
理容・美容業 椅子・洗面台など 	医院 ベッド・手術台など 	ガソリンスタンド 洗車機など

※申告書・明細書は、税務課資産税係および各総合支所市民福祉課に備えています。

《申告書提出・問合せ》 税務課 資産税係 ☎ 21-9046
 たは各総合支所市民福祉課

企業紹介

ふるさとづくりのために 環境経済に取り組んでいます！(21)

株式会社 川嶋建設

軽量で簡単な木造住宅の耐震補強工法の開発



「環境を良くする事業で経済効果が生まれることにより、環境と経済は互いに発展し合う」。このような環境経済型事業に取り組み企業にインタビューします。

《問合せ》経済課 経済係 ☎ 23-4480

―開発のきっかけは？

当初、鉄筋コンクリートビルの高強度カーボンを使用した耐震工法について、国立舞鶴工業高等専門学校と研究開発を進めていました。その過程で、「木造用の耐震工法はないの？」と質問を受けたことがきっかけで、開発に着手しました。

―どのような技術ですか？

開発した「耐震ブレースX」工法は、その名のとおり、壁面に「X」型の高強度カーボン板を取り付ける工法です。たったそれだけ、と思われるかもしれませんが、築50年の木造住宅に耐震ブレースXを取り付けて振動実験を行ったところ、新耐震基準をクリア



▲耐震ブレースX (外壁取り付け用)

するまで補強できました。

使用する高強度カーボンは、航空機や最新自動車に採用されている新素材で、鉄よりずっと軽いにもかかわらず、鉄の10倍の引張り強度を持っています。

―在来工法と比べて、「耐震ブレースX」の利点は？

大掛かりな工事を必要としないことです。在来工法では、一度壁の除去が必要ですが、この工法では、壁の外に取り付けるため、壁の除去が不要です。このことで、工期間が大幅に短縮できるばかりでなく、在来工法より30パーセント程度安く施工できます。また、高強度カーボン板は半永久的であり、メンテナンスもほぼ必要ありません。

―具体的に施工の値段は？

耐震診断・耐震設計を行わなければ分かりませんが、1軒(おおむね40坪程度)当たりおよそ百数十万円程度になり

ます。市(建築住宅課)が行っている住宅耐震改修促進事業補助制度では、上限30万円まで補助されますので、ぜひ、活用してください。

―環境への効果は？

外壁取り付けの場合は、壁の除去が不要なため、産業廃棄物の発生を、在来工法の50分の1程度に抑えることができます。

―今後の展開は？

まず、市内で実績を積んでいくとともに、地震に強いまちづくりを応援したいです。耐震工事は、いわば保険のようなものです。地震が起ってからでは遅いので、耐震セミナーのような勉強会を開催し、耐震工事の効果について広く周知していきたいです。また、皆さんには、市の行っている無料耐震診断(昭和56年5月31日以前に着工した住宅を対象)を利用し、自分の家の耐震性を知っていただきたいです。

※詳細は、豊岡市産業技術ホームページ「テクナビ豊岡」をご覧ください。

<http://tech-navi.city.toyooka.lg.jp/>

toyooka.lg.jp/

「みやぢ」南極へ行く⑦ 一生懸命

平成23年12月23日、「みやぢ」こと宮下泰尚隊員(豊岡市職員)が「第53次南極地域観測隊越冬隊員」として南極昭和基地に立ちました。豊岡市民にとって、豊岡にいながら世界につながるという新しい夢の始まりです。世界に飛び出した宮下隊員のレポートを紹介します。

《問合せ》植村直己冒険館 ☎ 44-1515

「仕事も遊びも一生懸命」：第53次隊のモットーです。6月21日の冬至を盛大に祝う、南極昭和基地最大のイベント「ミッドウインターフェスティバル」を隊員全員で楽しみました。今回の目玉は、会場となったアイスドーム。悪天候のため、設営に苦戦しましたが、出来栄は上々でした。イベントテーマ「Zero」(ゼロ)「技術を磨いて寒さに遊ぶ」の第1歩でした。また、寸劇、カラオケ、クイズ大会、そしてシェフ自慢のフルコースの振る舞いなど、越冬隊員

にしか味わえない楽しみであり、皆さんにも届けたいものでした。

7月12日、40日ぶりに太陽と再会しました。極夜は1日中真っ暗と思っていました。実は昼の時間帯は少しだけ明るくなります。南極の自然の美しさを実感するひとときでした。私の南極行も折り返しを迎えました。早いものです。※詳細は、ブログ「植村直己冒険館職員南極へ行く」で紹介しています。
<http://blog.apteacup.com/boukenkan/>



▲ミッドウインターフェスティバル招待状



▲アイスドーム内部